株式会社ゴールドウイン　カスタマーサービスセンター
0120-307-560
受付時間 9:30～17:00 (土・日・祝日及び弊社指定休業日を除く)

こちらから設営手順を
動画で確認できます。

この紙は環境に配慮したストーンペーパーを使用しています。ストーンペーパーは木材のかわりに
石灰石を原料にしており、製造時に水質を汚染せず、破れ・耐水性にも優れています。

TENT CARE & USAGE

NV22311

GEODOME 4

GEODOME 4 について

GEODOME 4（ジオドーム 4）は、歴史的傑作である「2-METER DOME」に流れるバックミンスター・フラーと The North Face の設計思想を継承した新しいジオデシックドームテントです。ドームテントには珍しい半球以上の球体形状を採用したことで、4人用のコンパクトなドーム（直径 3m）でありながら天井高 2.1m を実現し、人が立って活動できる居住性を確保しました。

ご使用にあたって

この度は The North Face 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全にご使用いただくため、必ずこの取扱説明書を読んでからご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご不明な点等がございましたら、お求めになった販売店、もしくは弊社カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

The North Faceのテントは、便利で快適な居住性を提供するようにデザインされています。以下のポイントを参考にしてご使用ください。

■テントサイトの選び方

凹凸が少なく、乾いた平らな地面が理想的です。大きな石や尖った石を取り除き、テント本体の大きさを整地してから設営をしてください。湿地や雨天時では本体のフロア部分から水分が浮いてくることが考えられます。テント本体を保護するためにも、フットプリントを併用することをお勧めします。

■荷物の整理

The North Face のテントはモデルにより様々な形の前室があります。テント内を広く使うためにパック等のギア類は前室に置き、快適な寝室を作るために役立ててください。前室に荷物を置く際は、設営場所周辺の動物や気象条件をよく把握して外に出す荷物を判断してください。

■ベンチレーション

The North Faceのテントには新鮮な空気を取り込む為のベンチレーションを設けています。気象条件に合わせて開け方を調整してください。

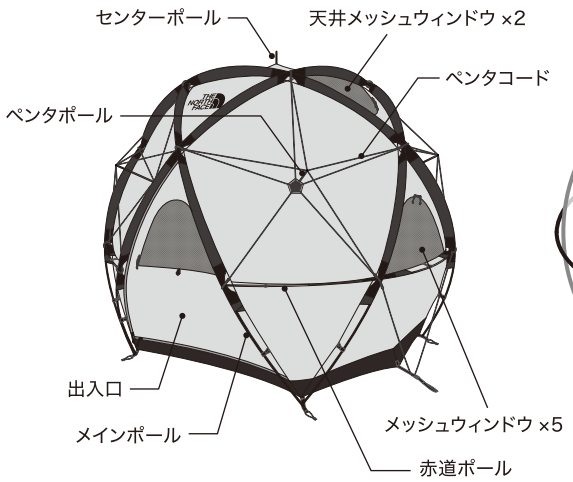
■悪天候の時は

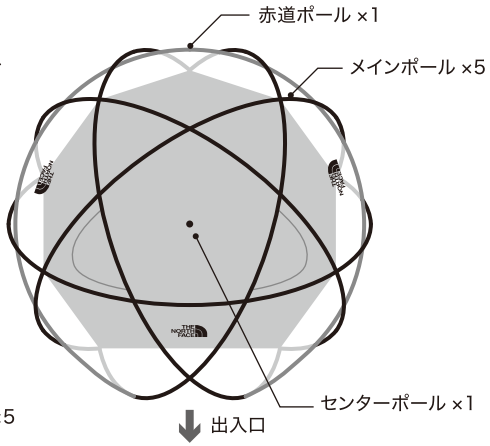
強風の時には出入口を風下に向け、さらに風よけになるものの影にテントを設営します。本体・フライシートにガイライン（張り綱）をしっかりと結び付け、ペグで固定します。必要に応じて木や岩に結び付ける等して、テントをさらに固定させます。雨天時も雨水を溜めさせないようにガイラインはしっかり張ってください。

■火器の使用に関して

The North Face のテントは防火基準に適合するような処理をされています。しかし、テント内での火器の使用は酸欠や中毒症状を引き起こす可能性があり、大変危険ですので避けてください。調理等でテント周辺で火器を使用する際も、延焼するものを近くに置かないよう注意してください。

インナーテント

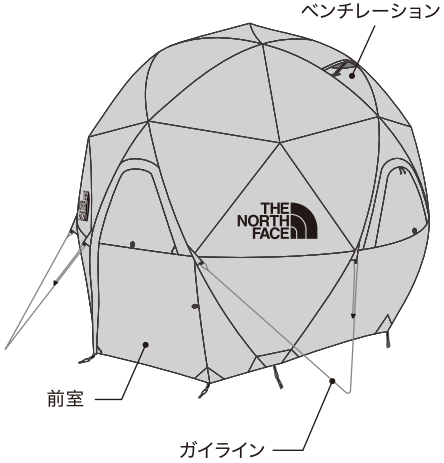


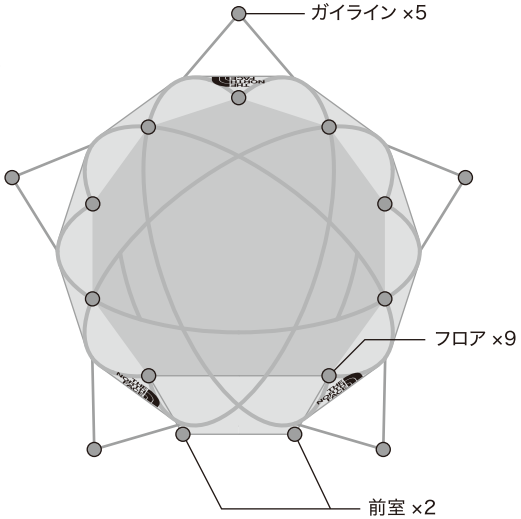


ポールの構成

<上面図>

フライシート

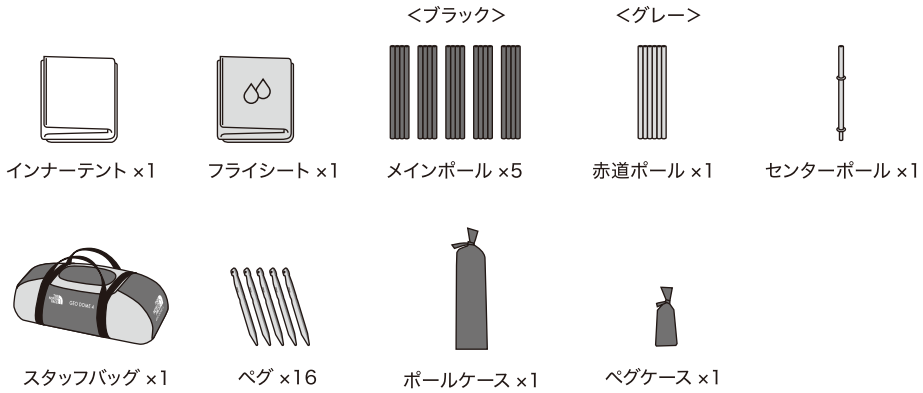


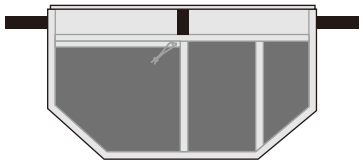


ペグダウンの位置

<上面図>

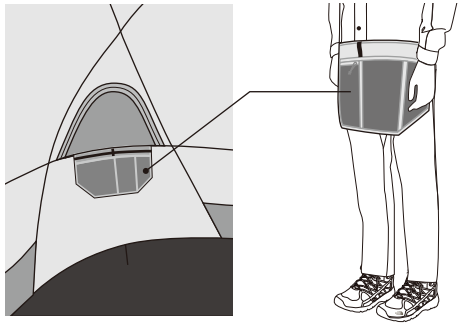
セット内容





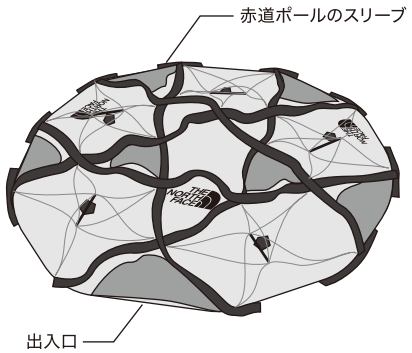
リムーバブルポケット

インナーテントの内側にリムーバブルポケット（4ヶ所）が付属しています。テント内での小物整理だけでなく、取り外して使用することもできます。

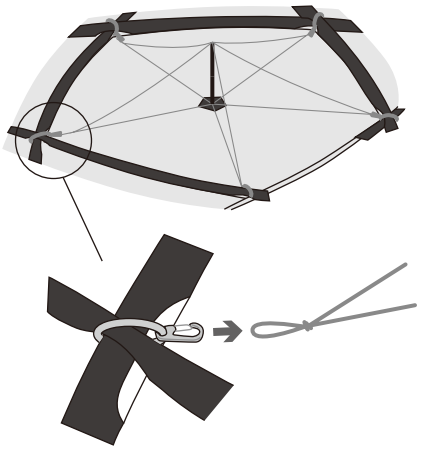


01

赤道ポールのスリーブが外側に来るように、本体を平らに広げます。

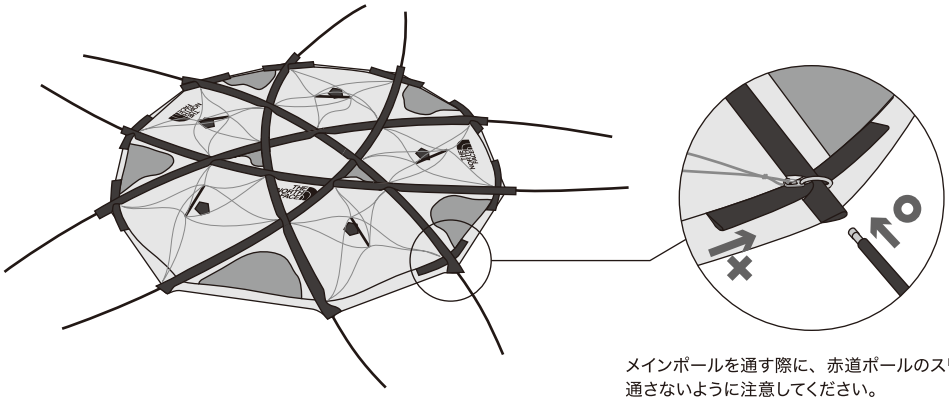


ペンタコードがねじれたり、からまっている際は
ほどいてください。コードの先をカラビナから
外すとスムーズに行えます。



02

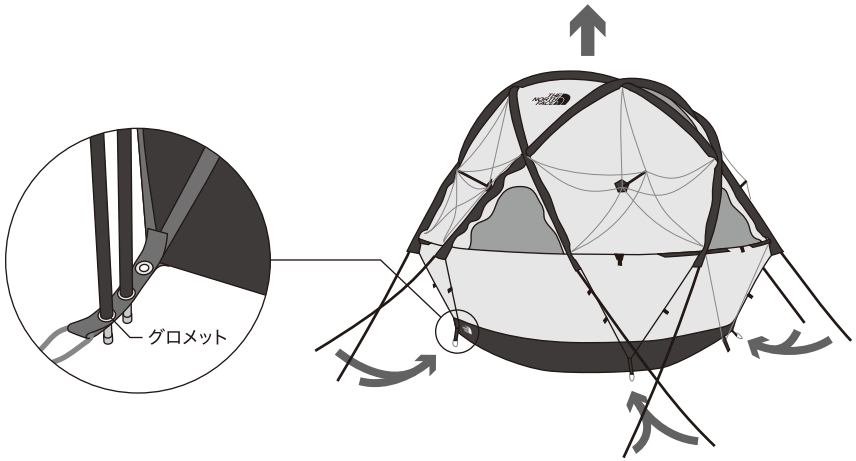
組み立てたメインポールを 5 本全てスリーブに通します。



メインポールを通す際に、赤道ポールのスリーブに
通さないように注意してください。

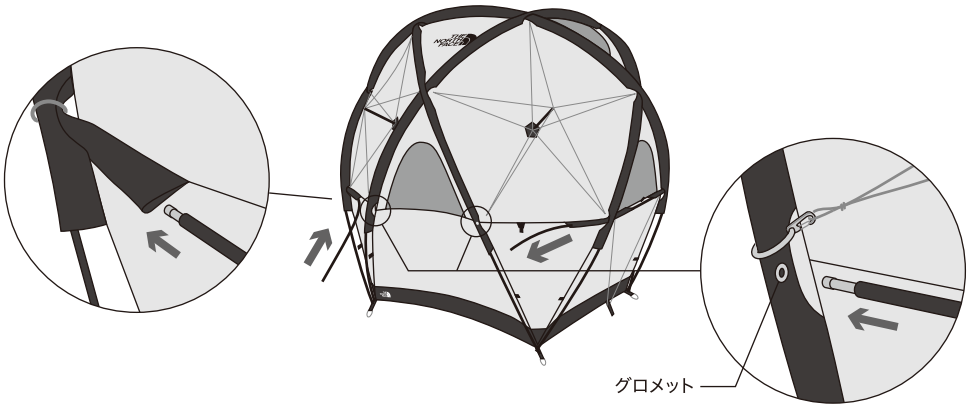
03

ポールを押し込みながら本体を立ち上げ、ポールの両端をグロメットに差し込み固定させます。
※2名で作業する場合は、1 名がテント内部からテントを持ち上げるとスムーズに作業できます。

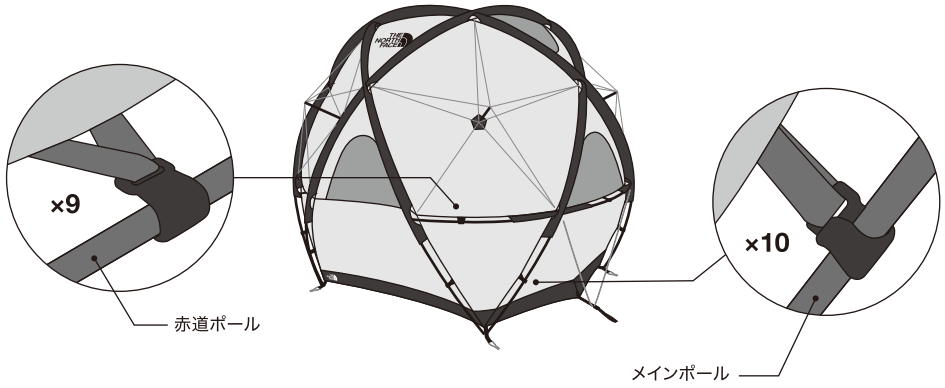


04

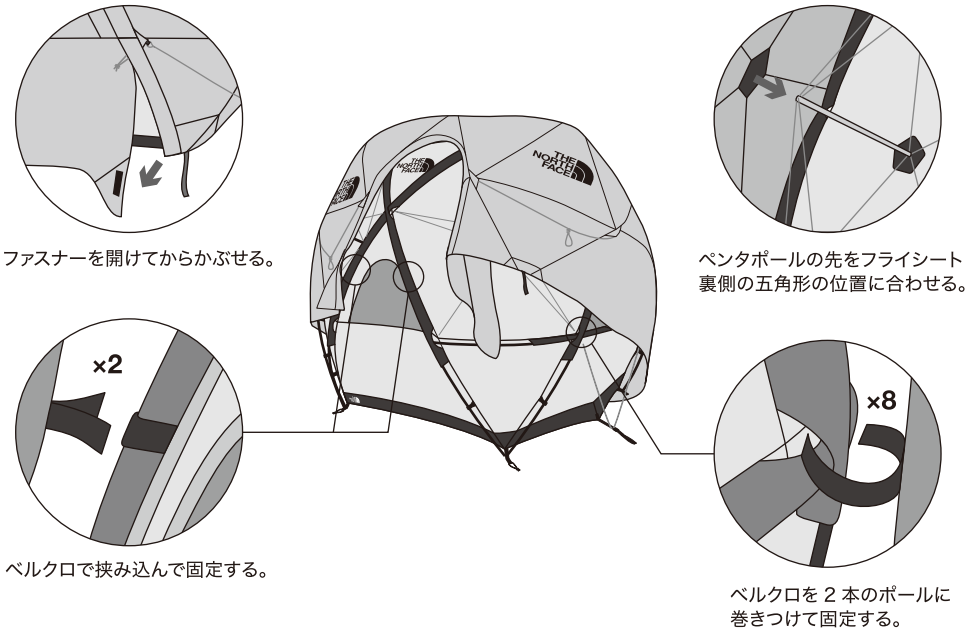
赤道ポールをスリーブに通し、ポールの両端をグロメットに差し込んで固定します。



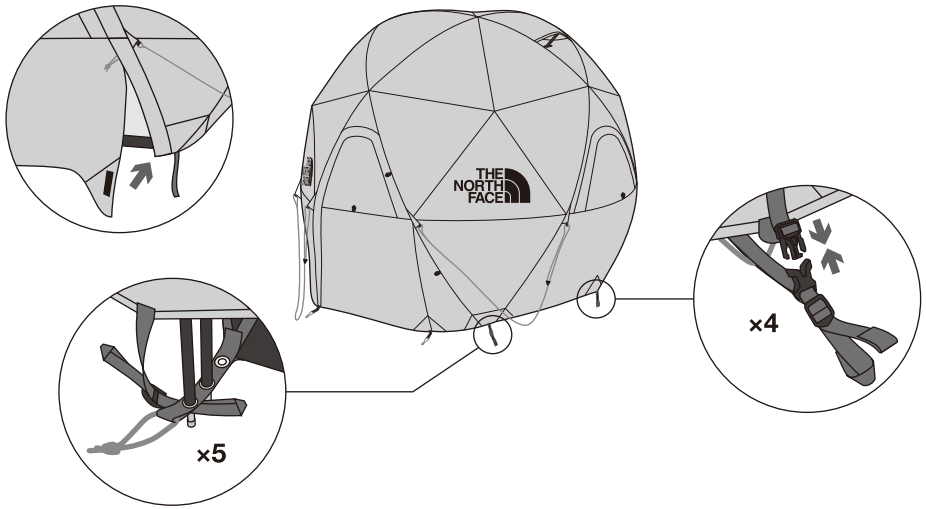
05 フックをポールに引っ掛けます。



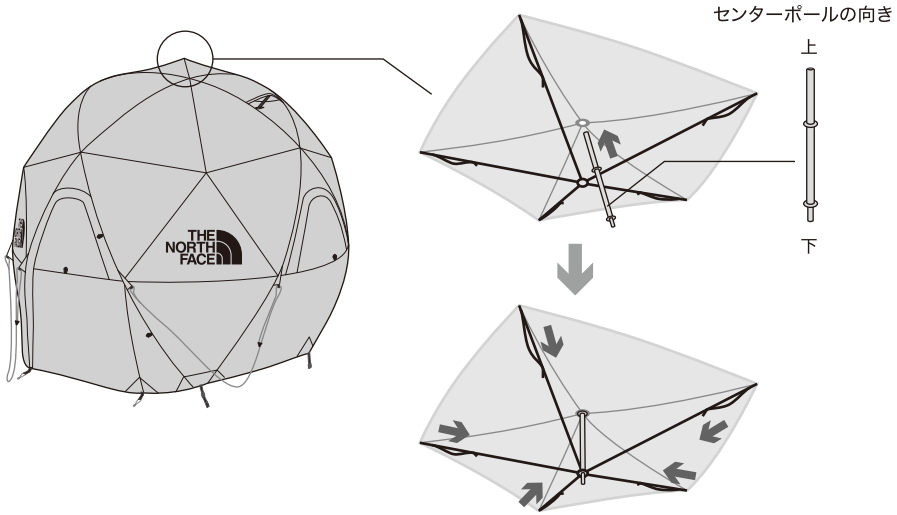
06 フライシートのボトム部のジッパーを開け、インナーテントにかぶせます（フライシートとインナーテントの赤いテープの位置を合わせる）。フライシートの裏側についているベルクロをポールに固定します。



07 フライシートのボトム部のファスナーを閉める。フライシートのグロメットをそれぞれのポールの先に固定し、フライシートと本体のバックルも固定します。

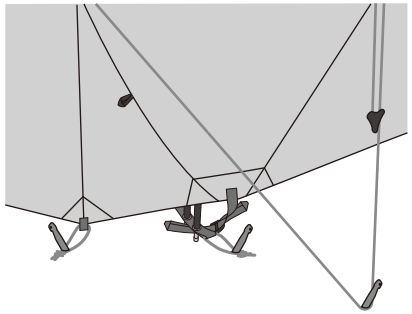


08 テントの内側からセンターポールを天井部分のリングに差し込み押し上げます。本体上部のたるみが無くなるよう、テープを引いてテンションを調整します。



設営の手順 ③

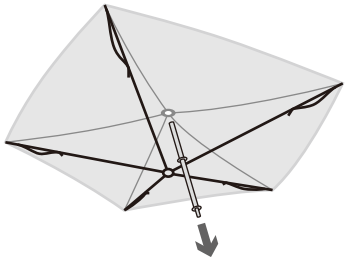
09 ペグを使ってテント本体と、ガイラインをしっかりと固定します。
ペグダウンが必要な位置は P3 の「ペグダウンの位置」を参照してください。
※ペグを打つハンマー等はご自身でご用意ください。



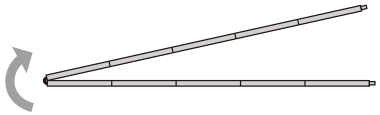
テントの撤収

テントを撤収する際は、「設営の手順」を逆に行います。

① フライシートを本体から外す前に、センターポールを忘れずに外してください。



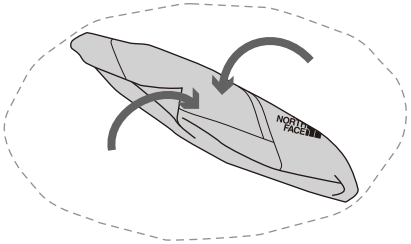
② テントポールは中央部分から折りたたんでください。端から折りたたむと、内側のゴムに負荷がかかり劣化が早まります。

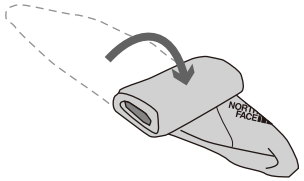


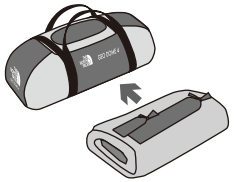
③ 本体、フライシートはスタッフバッグの幅に合わせて折りたたみます。

④ 空気を抜きながら丸めます。

⑤ スタッフバッグに収納します。







メンテナンス方法

■クリーニング

テントを設営した後、真水で汚れを洗い流し、スポンジ・タオル等で湿気をふき取ります。換気をしっかりと行い完全に乾燥したら収納します。ランドリー洗濯やドライクリーニングはしないでください。

■保管方法

テントを保管する際は、必ず完全に乾燥させた状態で収納をしてください。高温多湿状態では、防水コーティングを剥離させる原因となる白カビが発生しやすく、生地の寿命を低下させます。テントを長期間収納したまま放置してしまうことも、生地の寿命低下につながります。定期的に設営し生地を換気しましょう。

■ファスナーとポール

ファスナーにはスムーズな動作を保つため、定期的にシリコンスプレーを噴霧してください。ポールは接合部の土や砂、ほこり等の汚れをこまめにふき取り、内側のゴムも定期的に交換してください。

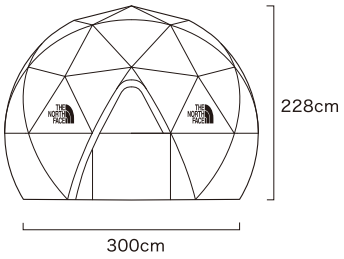
■シーム処理

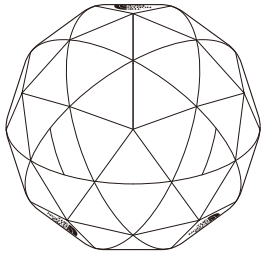
テントのフライシートには、製造段階でシームシーリングを施しています。

仕様

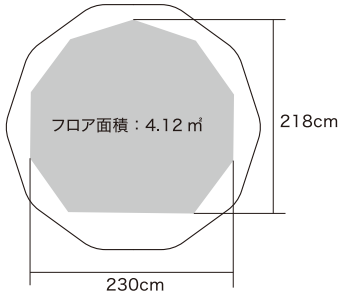
素材：キャノピー／ 75D リップストップポリエステル
フロア／ 150D ポリエステルオックス 10,000mm PUコーティング
フライシート／ 75D ポリエステルタフタ 2,000mmPU コーティング

収容人数：4 名
平均重量：約 11.07kg
収納サイズ：Φ26×L73cm
Made in China





<上面図>



保証と修理について

不適切な設営によるポールの破損や、生地の破れ、白カビの発生や、不適切な保管・洗浄によって発生したコーティング劣化等の生地へのダメージは、The North Face の保証の対象とはなりません。適切な設営方法・保管方法をご理解のうえ使用してください。修理が必要な場合はお買い求めになった販売店または、弊社カスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。